

大学院オペラ《ドン・ジョヴァンニ》によせて

安田 和信(国立音楽大学講師)

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-91)は20作ほどのオペラを残しましたが、《ドン・ジョヴァンニ》ほど強烈な印象を残す作品はないのではないのでしょうか。稀代の女たらしで、神をも畏れぬ背徳者。まさにアンチ・ヒーローですが、西欧ではドン・ジョヴァンニの原型ともいべきドン・ファンが17世紀から文学・音楽作品の題材となり、人々を魅了してきました。

モーツァルト、台本作者ロレンツォ・ダ・ポンテのコンビによるドン・ジョヴァンニは冒頭で騎士長を殺害し(18世紀のオペラでは稀な場面)、最後は騎士長の亡霊によって地獄へ堕とされます。「悔い改めよ」と迫る騎士長に対し、ドン・ジョヴァンニは決して首を縦に振りません。このオペラがコミカルな場面を含む「オペラ・ブッファ」であるのは間違いないと思いますが、殺人や地獄墮ちの場面は特にモーツァルトの音楽によって非常に恐ろしく、背筋も凍るようなものとなっております、聴きどころと言えるでしょう。

一方でドン・ジョヴァンニは、召使レポレッロが歌う有名な「カタログの歌」によれば無数の女性遍歴を誇ったはずですが、劇中では邪魔が入って女性の誘惑に成功しません。村人マゼットの花嫁ツェルリーナとは「お手をどうぞ」の二重唱であと一步のところまで行きますが、ドン・ジョヴァンニへの想いを断ち切れないドンナ・エルヴィーラのせいで失敗に。それどころか人々から疑いの目で見られる始末。幕開けでドン・ジョヴァンニに襲われたドンナ・アンナはついにこの男こそ父の仇と気づき、婚約者のドン・オッターヴィオに復讐を迫ります。このオペラにはコミカルな性格を体現したレポレッロから、ひたすら深刻なアンナまで実に多彩な人物が現れますが、音楽で人物を描き分けるモーツァルトの才能はやはり圧倒的です。

オペラ史でもひととき異彩を放つ《ドン・ジョヴァンニ》。本年度の大学院生たちはどのように歌い、演じてくれるのでしょうか。乞うご期待！

阪 哲朗 BAN Testuro, conductor

京都市出身。京都市立芸術大学作曲専修にて廣瀬量平氏らに師事後、ウィーン国立音楽大学指揮科にてK.エステルライヒャー、L.ハーガー、湯浅勇治の各氏に師事。1995年第44回ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。ヨーロッパではビール市立歌劇場、ブランデンブルグ歌劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、アイゼナハ歌劇場、レーゲンスブルク歌劇場で音楽監督・専属指揮者を歴任し、約70演目1000回以上の公演を指揮。毎夏オーストリア・レヒで開催されるレヒ・クラシックフェスティヴァルには2016年の初登場以来、度々招聘されている。

日本では山形交響楽団首席客演指揮者(2007～09年)を経て現在は同楽団常任指揮者(2019年～)。全国共同制作オペラ・野村萬斎新演出《こうもり》、びわ湖ホール・中村敬一演出《ばらの騎士》で成功を収める。山形交響楽団とはベートーヴェン交響曲全曲演奏会(2020～24年)を実施し、2023年から演奏会形式オペラシリーズをスタート。地域文化の担い手として県内各地でのコンサート、スクールコンサートに積極的に取り組み、インターネット配信にも力を入れて新たなファン層を開拓している。びわ湖ホール芸術監督(2023年～)としても意欲的なプログラミングを展開。教育者として京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授を務め、後進の指導に力を注いでいる。

1996年京都府文化賞奨励賞、1997年ABC国際音楽賞、2000年京都市芸術新人賞、第2回ホテルオークラ音楽賞、2004年第12回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第26回藤堂顕一郎音楽賞、2020年京都府文化賞功労賞、2024年第75回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。



©Florian Hammerich

中村 敬一 NAKAMURA Keiichi, stage director

オペラ演出家。

1957年東京に生まれる。はじめ、武蔵野音楽大学同大学院で声楽を専攻、卒業後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属してオペラスタッフとして活躍。以後、鈴木敏介、栗山昌良、三谷礼二、西澤敬一各氏のアシスタントとして演出の研鑽を積む。

1989年より、文化庁派遣在外研修員として、ウィーン国立歌劇場にて、オペラ演出を研修。帰国後、リメイク版《フィガロの結婚》、二期会公演《ドン・ジョヴァンニ》《ボッペアの戴冠》で、高い評価を得、続く二期会公演「三部作」、東京室内歌劇場公演《ヒロシマのオルフェ》、日生劇場公演《笠地蔵・北風と太陽》で、演出力が絶賛され、1995年ジローオペラ新人賞を受賞する。また、2000年には新国立劇場デビューとなった《沈黙》が、高く評価され、2001年ザ・カレッジ・オペラハウス公演《ヒロシマのオルフェ》で大阪舞台芸術奨励賞を受賞。オペラの台本も手がけ、松井和彦作曲《笠地蔵》《走れメロス》、新倉健作曲《ボラーノの広場》《窓～ウィンドウズ》、前田佳世子作曲《どんぐりと山猫》などがある。

音楽的な視点と豊かな感性による舞台づくりは広く認められ、また若い音楽家の指導、オペラの普及に尽力している。

国立音楽大学招聘教授、大阪音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学客員教授、常葉大学短期大学部音楽科の客員教授、大阪教育大学講師、沖縄県立芸術大学講師。



ドン・ジョヴァンニ
後藤 悠斗



ドンナ・アンナ
宮田 結菜



ドンナ・エルヴィーラ
田野 桃佳



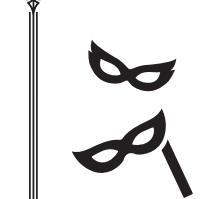
ドン・ジョヴァンニ
杉瀬 芳斗



ドンナ・アンナ
仙石 珠希



ドンナ・エルヴィーラ
夏目 明歩



ツェルリーナ
柴 遥香



ドン・オッターヴィオ
足立 悠道



ツェルリーナ(1幕)
鈴木 うらら



ツェルリーナ(2幕)
櫻井 紗花



ドン・オッターヴィオ
藤田 巧



マゼット
島田 恭輔



レポレッロ
大槻 聡之介



騎士長
高橋 正尚



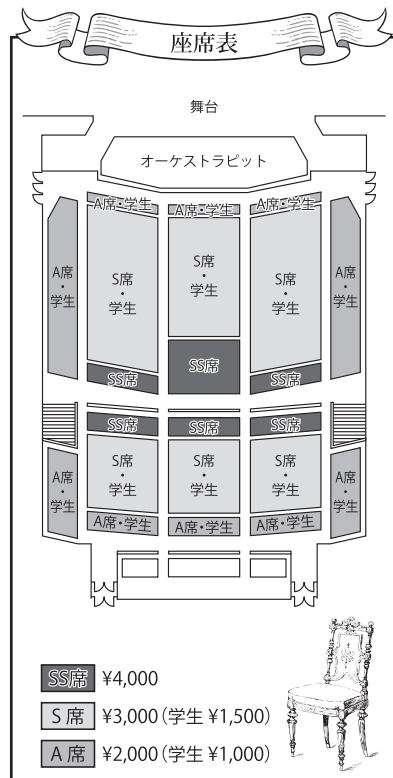
マゼット
小山 晃平



レポレッロ
高田 智士



騎士長
高橋 正尚



ご来場に際して

- 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。
- やむを得ない事情による公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル、変更、払い戻しは致しかねますのであらかじめご了承ください。
- 車椅子にてお越しのお客様は事前に演奏芸術センター(042-535-9535)までご連絡ください。
- 会場内での写真撮影、録音、携帯電話の使用は固くお断りいたします。
- 状況により、出演者、内容などの変更、中止になる場合がございます。最新情報は本学公式Webサイトでお知らせいたします。